



これからの多職種連携・チーム医療 における薬剤師の役割

詳細はコチラ
当センターHP



世界最高齢社会の日本では、かかりつけ薬局、在宅医療から院内薬剤部まで、全国のあらゆる臨床現場における多職種連携・チーム医療において、これまで以上に**薬剤師の役割が重要**になっています。日々の日常診療における多職種連携の重要症例を通じて、専門的な視点から理想的なチーム医療を推進する薬剤師の役割を確認して、一歩踏み出してみませんか？
グループワークで全国の参加者の皆さんと一緒に楽しく学びましょう！

認定単位



3 単位発行

※本認定単位は日本薬剤師研修センターなどGPC認証研修制度間で原則互換性があります

日時

※受講料入金締め切り 1月24日(火)

1月29日(日)
12:30~17:30

※12:15までに接続をお願い致します
※薬ゼミラーニングトレインよりお申込みをお願い致します

会場

ご自宅
(ZoomによるWeb配信)

必要なもの

- PCもしくはタブレット端末
- ※カメラ、マイク機能がない方は、ご参加いただけません
- ※講座の性質上、スマートフォンでのご参加はお控え下さい
- インターネット接続環境（ご自身のネット環境により、音声や画像の乱れが生じる可能性があります）
- Zoomの利用は無料ですが、インターネット使用料金は自己負担でお願い致します
- タブレット端末でご参加の方は、事前にZoomのアプリをダウンロードしてください

受講料

5,000円

※登録で
Ph-port
4,000円



Ph-portのご登録、割引クーポンはコチラ



ラーニングトレインのログインはコチラ

※薬剤師以外の方の参加も可能です。是非ご参加ください。
受講料が異なりますので、下記お問い合わせ先までご連絡ください
※Ph-portは、薬学ゼミナールが運営する薬剤師のコミュニティーサイトです

研修単位の発行について

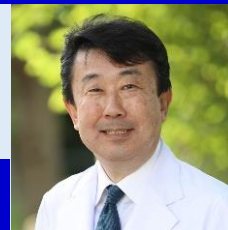
受講後3日以内に薬ゼミラーニングトレイン内の事後アンケートにお答えください。後日単位発行システム(単位発行くん)より研修単位を発行していただけます
(発行方法につきましては受講当日にご案内いたします)

講座概要

第1部 「薬学教育のモデルコアカリキュラムからみた
地域医療連携における薬剤師の理想像」

～主要症候の確認ポイント：
副作用発見や早期受診を勧めるためのキーワード30～

長谷川 仁志 先生：医師／秋田大学 医学教育学講座 教授／
日本医師会生涯教育推進委員会 委員長／日本医学教育学会 理事



第2部 「地域包括ケアにおける実例からGWで学ぶ」

～薬剤師が多職種チーム医療に関わるポイント～



- 1 医療法人社団隆仁会 秋田往診クリニック 理事長 市原 利晃 先生：医師
- 2 JA秋田厚生連 能代厚生医療センター 地域医療連携室 伊藤 美穂子 先生：看護師
- 3 株式会社ピー・アンド・エス 在宅医療連携室 室長 齋藤 淳 先生：薬剤師
- 4 社会福祉法人 桜丘会 訪問看護ステーション幸 管理者 木村 真紀子 先生：看護師
- 5 SOMPOケア秋田仁井田居宅介護支援事業所 管理者 伊藤 百子 先生：ケアマネジャー

ZoomによるWeb配信受講までの流れ

